

県視連だより

<http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central-center-2-2/>

第100号

令和3年3月2日

発行 鹿児島県視聴覚教育連盟

(かごしま県民大学中央センター内)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

TEL099-221-6606

鹿児島県視聴覚教育連盟(通称「県視連」)は、県内における視聴覚教育の振興を図るため、教材の購入、県自作視聴覚教材コンクール、ホームページによる視聴覚に関する情報の提供等を行っています。



特別寄稿「思い出す事」

元県視連事務局長(県立図書館副館長) 佐多 登

私は、工業高校の機械の教師として、教科や実習を指導したり、教材用のロボットなどを開発したりしていた。その私が、県立図書館への異動と聞いた時はとても驚いた。

図書館は図書の貸し出しを行う…と私は思っていたが、当時の視聴覚課には視聴ブースが在り、図書館のCDやLDを借りて視聴できた。利用者の中には、「CD等を貸し出して欲しい、お客さんは神様だろう!」と受付の女性に強く迫る人も居たようだ。彼女には「図書館の場合は『お客さん』ではなくて『利用者』ですよ」と話した事を覚えている。

私は視聴覚課の先生方には、何のアドバイスも出来なかったし、それ程のスキルも無かった。後日「課長さんが指示も批評もされなかったから、私達は伸び伸びと業務を進める事が出来たんですよ」と聞いた時は安心したのを覚えている。素晴らしいスキルと発想を持った先生方に支えられた素人課長だったなあ…と、今でも思っている。

受賞作品決定 ～令和2年度県自作視聴覚教材コンクール～

教育メディアを活用した授業のための自作教材や地域に関する郷土教材の制作を奨励するため、毎年1回、自作視聴覚教材コンクールを実施しています。本年度は、地域の視聴覚ライブラリーを通じて、38点の力作が出品されました。今年度はオンラインで表彰式を開催しました。コンクールの入賞者は、次のとおりです。(敬称略)また、表彰式の後には「授業目的公衆送信補償金制度について」という演題で一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS 理事・事務局長 野方英樹氏によるオンライン講話も行いました。

《学校教育・社会教育関係者の部》

賞	部門	タイトル	制作者	所属
最優秀賞	動画	わたしたちの誇り 田之浦夜神楽	塩屋 豪毅	志布志市立志布志小学校
優秀	パソコン	ローマ字ってどんな文字?～ローマ字について知ろう～	小田 千尋	鹿児島市立福平小学校
優良	パソコン	知っていると便利なPC操作	本山 智彦	南さつま市教育委員会
		中学数学 立方体の切り口	杉岡 和正	鹿児島市立東桜島中学校
		こんなところにも「UD」	川畑 悠太	鹿児島市立武岡台小学校
努力	パソコン	かけざんマスターへの道	西郷 知里	鹿児島市立坂元台小学校
		魔法の三角(三角ロジック)	増田 百夏	鹿児島市立福平中学校
		三角形と四角形	里 潤奈	鹿児島市立松元小学校
		すごいぞ “かごしま” ナンバー1	佐々木 幸男	川上小学校郷土教育部
	命を守るために(防犯)	川上 将敬	霧島市立宮内小学校	
動画	川内がらっば散歩	田中 守	薩摩川内市教育委員会社会教育課	

《児童・生徒部門の部》

賞	部門	タイトル	制作者
優良	動画	釣り映画「SABIKI」	久志校 釣り・映画クラブ 代表 植田 心大
努力	パソコン	ナスの不思議?	霧島市立木原中学校 桐野 蓮大
努力	パソコン	トマトについて	霧島市立木原中学校 遠藤 こはる
努力	パソコン	トマトの病気について	霧島市立木原中学校 深栖 響希
努力	パソコン	キュウリにアブラムシがなぜついたのか	霧島市立木原中学校 萩原 愛華
努力	パソコン	社会科3択問題 5年, 6年	竹子小学校 5・6年 代表 肥後 敬士
努力	動画	バスケットへの道	加世田チーム 代表 佐藤 菜々子
努力	動画	モンスターと1人の勇者	万世小学校 代表 野田 晴斗

《動画部門一般の部》

賞	部門	タイトル	制作者又はグループ
最優秀賞	動画	中津野用水路をつくった15歳の少女 水口ユキエ	リンクさんあい 4班
優秀	動画	知られざるオオスズメ蜂の子育ての観察	二反田 孝男
努力	動画	和気神社の藤祭り	霧島ビデオクラブ

※ 動画部門の入賞作品は、市町村ライブラリーを通じて教材として貸出することができます。次回のコンクールは、令和3年7月頃に御案内します。多くの皆様の御応募をお待ちしております。

【受賞者の声】

【志布志市立志布志小学校 塩屋豪毅】

今回、このようなすばらしい賞をいただき、大変光栄に思います。

志布志市立田之浦小学校では、田之浦地区に伝わる伝統芸能「田之浦夜神楽」に取り組んでいます。2年に一度の晴れの舞台に向けて、地域の保存会の方々の指導を受けながら練習に励み本番に臨む姿を映像にまとめました。

本教材を視聴することで、地域を誇りに思う気持ちが育てば、とてもうれしいです。

【リンクさんあい4班 高木 健】

今回は、最優秀賞をいただき、ありがとうございます。資料等が少ないなか地域の皆様には色々とお世話になりました。この作品を観ていただき(まだまだ表現しきれませんでした)困難に立ち向かい問題を解決したすばらしい少女がいた事を知ってもらい、誰かの為に役立つ行動をすすんでする勇氣、困難に立ち向かう強い心、用水路が完成して目的を達成した喜びと感謝の気持ちなどを感じてもらえればこの作品を制作したかがあります。



Zoomによるオンライン表彰式の様子



SARTRAS(理事・事務局長 野方英樹氏)による

講話「授業目的公衆送信補償金制度について」

地域視聴覚ライブラリーの活動紹介！

今回は、さつま町視聴覚ライブラリーと霧島市メディアセンターを紹介します。

さつま町視聴覚ライブラリー

本町視聴覚ライブラリーは、宮之城文化センター内にあり、町内の教育機関や公民会などへ視聴覚教材や機材の貸し出しを主に行っております。

自主活動として、「映画鑑賞会」を夏と冬の年2回開催しており、子供達に人気のイベントとなっております。

また、高齢者サロンや高齢者学級の出前講座に講師派遣の依頼を受けて出向き、視聴覚教材を使用した様々な学習を行っています。特に映画鑑賞や演歌に合わせて健康体操を行う『エンカサイズ』の上映など好評を得ています。

今後も多くの方に視聴覚教材を利用いただくために、利用促進を図るとともに、充実した視聴覚ライブラリーを町民の皆様へ届けられるよう、視聴覚教材のラインナップを更に増やしていきたいと思っております。



霧島市メディアセンター

霧島市メディアセンターでは、市内の教育機関や各種団体等への教育メディアに関するさまざまな事業を行っています。

視聴覚教材や機材の貸出を始めとし、パソコンやタブレット端末、デジタルビデオなどの映像に関する講座の開設、自主事業として「なつかしの映画を観る会」や「土曜子ども映画会」などの映画会の開催、来年度から始まるGIGAスクール構想実現のための情報モラルやプログラミング学習などに関する研修会の実施など多岐に渡っています。

現在、新型コロナウイルス感染症対応のため、すべての講座や研修会、映画会等は参加人数を制限しながら運営しています。このコロナ禍の中、WEB会議システムを活用したオンライン研修や会議等のニーズが高まっています。今後の「新しい生活様式」を踏まえた活用が図れるよう、利用者のニーズを把握し、施設設備や学習環境を整え、多くの方々にご利用いただけるよう取り組んでいきます。

